

2021/01/18 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 25章40節 (新約聖書52頁)

そこで、王は答える。「はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」

サピエンスの遺伝子

人類の先祖は約20種あると言われていています。約700万年から絶滅を繰り返してきました。そして最後に約50万年前に登場したネアンデルタール人と約20万年前に登場したホモ・サピエンスの2種が残りました。そのホモ・サピエンスが私たちです。

ネアンデルタール人はマッチョなレスラーのような体格で、賢く優秀でした。一方ホモ・サピエンスはか細く、弱い体でした。それだけに互いに協力しなければなりませんでした。しかし生き残ったのはホモ・サピエンスでした。屈強なネアンデルタール人は滅んでしまいました。

その秘密を解くヒントがあります。アメリカの大学のある実験結果です。まだ喋れない、ようやくハイハイするようになった赤ちゃんの前に一生懸命箱の蓋を開けようとする人形を見せます。するとそこに黄色い帽子を被った人形が開けるのを手伝います。次に青い帽子を被った人形が開きかけた箱の蓋を上から押して邪魔をします。そして最後に赤ちゃんに黄色と青の帽子の人形を目の前に並べると、実験に参加した赤ちゃんの92%が黄色の帽子の人形を選びました。色を逆にしても同じ結果が出ました。このことから私たち現代人にも互いに協力するサピエンスの遺伝子が残っているとされています。人間らしく生きる秘密はそこにあります。

サピエンスの遺伝子は どうして私 が生まれたのか、どうして私は生きているのかの 一つの 答えを出して くれて います。それを イエスは この世の 最も 小さい者 に 寄り 添う こと、互いに 助け 合う ことが 生きる 喜びだと 伝えて います。そして 英和は それを 「愛と 奉仕」として 学んで います。

今、人類は パンデミック という 共通の 課題を 抱えて います。人種、宗教、民族の 違いを 超えて、互いに 協力する 時では ないで しょうか。私たちに は その 遺伝子 が あり、イエスの 教えが あり、そして 英和で の 学びが あります。

(しばらく 黙祷 しましょう)

祈 祷 祈 り ま し ょ う

わたしたちを 愛し、励まされる 主よ。

あなたは 弟子たち に 「わたしの 兄弟である この 最も 小さい者 の 一人 に したの は、わたし に してくれ た こと なの である」と 言われ ました。私 たちは 互いに 愛し 合う ため に 生まれ、生か されて います。どうか 私 たちが その 喜び に 与り、私 たちを 愛と 奉仕の 道に 導いて 下さい。今日 一日も すべてを あなたに 委ね、安全で 健康な 学校生活 を 送り、自ら 学び、共に 学び 合い 成長 させて 下さい。主 イエス・キリスト に よって お 願い 致 します。アーメン